

特別支援学級 自立活動学習指導案

日時	令和2年9月28日(月)公開授業2
学級	遠野市立遠野中学校 つばさ学級
生徒	つばさ学級(知的障がい)2年男子2名 やまびこ学級(自閉症・情緒障がい)3年男子2名
授業者	教諭 平山朱子(T1:やまびこ学級担任) 教諭 宮島慶子(T2:つばさ学級担任)

1 単元名 自分の得意分野を生かしながら、みんなで協力して活動しよう
～チラシビーズを使って〇〇をつくろう～

2 内容のまとめ
人間関係の形成(3)、コミュニケーション(5)

3 単元の目標
(1) 意欲的に学習に取り組み、集中力を持続させることができる。
(2) 自分の考えを持って伝えること、他者の考えを聞くことができる。
(3) 関わりを持ちながら、協力して活動することができる。

4 単元について

(1) 生徒について

- ア 本校の特別支援学級は知的障がい学級(つばさ学級)と自閉症・情緒障がい学級(やまびこ学級)の2学級である。在籍生徒は7名であるが、そのうち1名は通常学級で過ごしており、2名は不登校傾向があるため、毎日学級で生活している生徒は4名である。他者との関わりを課題とする生徒が多いため、コミュニケーションを図るためにも、一緒に行う活動を自立学習の時間に取り入れている。
- イ 生徒たちはそれぞれ個性豊かで元気に過ごしているが、他者とコミュニケーションを図りながら活動することは苦手であり、交流学級や全校生徒で活動する場面では遠慮がちで自分らしさを発揮できることが少ない。特別支援学級では、昨年度も「健康の保持」や「身体の動き」に関わる学習や校外学習等で、一緒に活動してきた経緯もあり、4人の中では意思の疎通が図れたり交流できたりする場面が見られる。しかし、本当に伝えたいことが伝えられず、もどかしい思いを抱いたり、相手の発言の意味を誤解して落ち込んでしまったりする場面も多く見られることから、伝えたいことが伝わるように話すことが課題であると感じている。
- ウ 学習に対しては、意欲や集中力が持続できないことが課題である。互いに競い合ったり切磋琢磨したりする場面を設定し、声をかけて励まし合う中で、集中力を保ちながら協力して学習する姿勢を身に付けさせたいと考えている。

(2) 教材について

- ア チラシや新聞紙を使ってビーズを作り、それをつなげて何を作るかを生徒たちで相談し、協力して作品を作る活動である。
- イ ビーズを作る段階では、生徒一人一人がチラシの長さや幅を考えながら試作し、どのサイズのビーズを使うのがよいかを全員で話し合い作成する。数学的な力を発揮してサイズを決めたり、紙の折り方を考えて形を切り出したり、一人一人の考えを尊重しながら、得意な分野に応じた作業を分担し、それぞれ工夫した活動ができればよいと考えている。
- ウ はさみ・カッター・定規・のり・針金・テグスなどの道具や材料の扱い方を学習し、安全に気をつけながら行う作業を通して、集中力と根気強さも培うことができると考えている。

(3) 指導について

- ア ビーズをどのように作るかを考えさせる。道具の扱い方を指導し、安全に気をつけながら作業できるように支援する。
- イ 一人一人が作ったビーズをつなぎ合わせて、どんなことができるかを考えさせる。第1段階は一人で考え、第2段階として、コミュニケーションを図りながら文化祭に展示する大きな作品を

どのように作るかを考えさせる。

ウ 一人で集中してビーズを作る時間と、コミュニケーションを取りながら協力して制作する時間を織り交ぜながら、一人一人の課題を達成できるよう支援する。

5 遠野中学校の研究との関わり

【研究主題】「主体的に学ぶ生徒の育成 ～自分の考えをもち、関わり合う授業を通して～」

視点1 「課題意識の持続」・・・自立活動を通して達成したい単元の課題と、学習課題に対する目標を記録することで、主体的に課題意識を持続させる。

視点2 「達成状況の把握」・・・教師は、一人一人の様子を観察しながら把握する。生徒は、自己評価、他者評価で行う。

視点3 「関わり合う場面の設定」・・・

A (自分との関わり合い) : 自分の考えをもち、集中してビーズを作成する。

B (他者との関わり合い) : お互いの考えを伝え合いながら、協力して展示作品を制作する。

C (教材・資料との関わり合い) : チラシを使ってビーズを作成し、それらを使って作品を作る。

6 本単元に関わる生徒の実態、目標と手立て (※目標の「人→人間関係の形成」「コ→コミュニケーション」)

生徒	単元に関わる生徒の実態	目標	手立て
A 2年知 (男子)	・よく気がつき、進んで関わりを持つことができる。		
	・集中力が続かず、場にふさわしくない発言をすることがある。	・集中力を持続できる。 【人(3)】	・スモールステップで目標を達成させることで、意欲と集中力を継続させる。
	・自分の考えをまとめて話すことは苦手である。	・自分の考えを話すことができる。【コ(5)】	・文型の例を示し、考えを整理させる。
B 2年知 (男子)	・好奇心が旺盛である。		
	・学習意欲が感じられないことが多く、手いたずらやちょっかいをすることがある。	・今やるべきことに集中する。【人(3)】	・ふさわしくない言動には声がけし、何をすればよいか確認する。
	・発音が不明瞭である。	・自分の考えを話すことができる。【コ(5)】	・文型の例を示して考えを整理させ、ゆっくり話すよう声がけをする。
C 3年情 (男子)	・理解力、発想力に富み、工夫してもものづくりに取り組むことができる。	・発想力を生かし、工夫して活動できる。 【人(3)】	・取り組みを認め、意欲的に活動できるよう声がけをする。
	・周囲を気にせず、自分の話を止められないことがある。	・リーダーとして、他者の意見も聞きながら、率先して制作できる。 【コ(5)】	・設計図を使って自分の考えを伝え、教師と一緒に仲間に意見を求めるようにする。
D 3年情 (男子)	・自分で考え、集中して活動することができる。		
	・自分から進んで話すことが苦手である。	・自分の考えを話すことができる。【コ(5)】	・文型の例を示して考えを整理させる。

7 活動計画（18時間）

期	時間	学習活動	支援のポイント
I期 5月～7月	6時間	<ul style="list-style-type: none"> 工夫してビーズを作る。 ビーズを生かした作品を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の特性を生かして、考える時間を確保し、集中して取り組む姿勢を支援する。 毎時間の記録を付けることで、各自の課題を意識させる。
II期 8月～10月	8時間 本時3/8	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭に展示する作品を、協力して制作する。 ビーズを効率よく、大量生産する。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の考えを持ち寄りながら、協力して一つの作品を作るために話し合いを設定する。 役割分担により、ビーズ作りと作品作りが並行して行えるようにする。
III期 11月～2月	4時間	<ul style="list-style-type: none"> お世話になった先生方へ、ビーズをアレンジしたプレゼントを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 共同作品の制作を通して習得した技術を生かした作品作りになるよう、支援する。

8 本時の指導

(1) 目標

自分の作ったビーズを持ち寄り、アイデアを出しながら、協力して作品を作ることができる。

(2) 展開

段階	学 習 内 容	生徒の活動	●評価 ・留意点等
導 入	1 あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢を正す。 あいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭に出品する作品として、リーダーの設計図を中心に、みんなで一つのものに仕上げていく活動であること、自分のアイデアも盛り込んでよいことを確認する。
	2 授業の流れの確認	<ul style="list-style-type: none"> 協力して作ること、ビーズが足りなくなったら、途中でもビーズ作りを分担して行うことを確認する。 	
	3 学習課題の設定	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">自分のアイデアを出しながら、協力して作業に取り組もう</div>	
5分		<ul style="list-style-type: none"> 本時の課題を確認し、発表する。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">視点1</div> <ul style="list-style-type: none"> 周囲に伝わるように発表する。 T1は各自の課題を黒板に貼る。 T2は聞く側の指導をする。
	4 道具、材料を準備する	<ul style="list-style-type: none"> 必要な道具や材料を、協力して準備する 	●協力して作業ができていますか。

展 開 35 分	5	ビーズをつなげて形をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・テグスや針金を使い、ビーズをつなげて形をつくる。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">視点3</div> <ul style="list-style-type: none"> ・意見を出し合いながら作業する。(B：他者との関わり合い) ・ビーズの組み合わせ方を考える。(C：教材・資料との関わり合い)
	6	形の出来具合を確認しながらつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な道具や材料を、お互いに貸し借りしたり、意見を交換したりしながら制作する。 ・ビーズが足りなくなった時は、作業を続ける人とビーズ作りをする人に分かれて作業分担する。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">視点2</div> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子から確認する。 ・T1 がリーダーに指示を出すよう声がけをする。 ・T2 はビーズ作り担当者をサポートする。
	7	作業を終了し、片付けをする	<ul style="list-style-type: none"> ・所定の場所に道具、ビーズを片付ける。 	
終 末 10 分	8	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りをシートに記入する。 ・自分の頑張りとお互いの頑張りを発表する。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">視点2</div> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価は記入で、他者評価は発言により行う。 ・T1 が講評と次時の確認をする。 <p>●本時の課題を意識した活動になったか。</p>
	9	次時の確認		
	10	あいさつ		

(3) 評価

2年知A	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に集中できたか。 ・自分の考えを話すことができたか。
2年知B	<ul style="list-style-type: none"> ・今やるべきことに集中した取り組みができたか。 ・自分の考えを話すことができたか。
3年情C	<ul style="list-style-type: none"> ・発想力を生かし、工夫した活動ができたか。 ・人の意見も聞きながら、協力して活動できたか。
3年情D	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを話すことができたか。